

## テーマ スポーツを通じたまちづくり



2月17日(日) 19:00~20:00  
少年軟式野球協会 参加者17人

館や小学校の運動場も管理している。スポーツクラブでの裁量部分もあるが、所管は教育委員会になる

活動場所は播磨、蓮池、西小学校だが全チームに言われている。浜田、望海球場での大会も石灰の決まりが変わった。部員数が減っており部費でまかなうのが難しい

管理は町からの指定管理料でしているが、グラウンドを使用する場合、スポーツによって石灰を使う、使わないがあつて公平性を考えたのが運営していく中で収支が厳しくなったのが、事情は聞いていない。使用者の負担になるなら理解が必要だと思う。グラウンドは有料だが、新たな石灰の負担はスポーツクラブで検討した結果ではないか。教育委員会に確認し後日回答する

トンボが6、7本あるが板が磨り減り交換の時期。スポーツクラブからはブラシ2本、トンボ4本を用意してもらったが、今後はクラブで管理、購入してほしいと言われた

土の補充や消耗品などは教育委員会でも予算化していると思う。あわせて返事をする

播磨町の少年野球は結構強いのに、中学の野球部に入ったら小学校の時に勝っていたところに勝てない。部活での指導者が足りていないのでは。私たちは野球経験があるので保護者を頼ってくれたら効率のいい練習ができるのではない

学校内のことなので教育委員会が所管している。教育委員会に確認し後日文書で回答する

中学の野球部は40人くらいいるので1人の先生では見られない。野球経験者で指導できる人はいる。播磨町の少年野球は結構強いのに、学校の部活ではできないから硬式野球に行く子もいるが費用もかかる

断ってしまうのは残念。指導者が素質を見出して育てていくのがスポーツの世界では大事だと思う。人材を埋めさせるようなことは避けたい

野球の技術だけでなく、それが親子の話題となり、思い出や経験にもなるので子どもにも野球を続けてほしい。子どもと親が同じ方を向いて考えるのは大事。中学校でも親も関わりながら続けていけたら子どもにもいい

播磨町は平成24年から父子手帳を交付している。生まれる前から父親が誕生や子育てに関わり、いろいろな記録もできるようになっていく。小さい時から同じ思いや目的を共有するのは貴重。小学校だけでなく、中学校教育でもうまく組み込めたらと思う。授業は先生だが保護者が部活に関わってもらえたら町としてもありがたいし、それが必要な時代かとも思う。技術も経験もある保護者が関われば部活も充実すると思うが、学校現場の状況や意見もあると思うので教育委員会に話をしてほしい

大会では県下から50チーム1千500人くらいの人が集まる。民間での取り組みも効果があるなら、そうしたやり方のほうを拡大する方向もあると思う。教育長とも話をしていきたい

子どもたちが小さいころ学習支援センターでお世話になったせい、親子で一緒に播磨町のために何かボランティアをしたいと言っている。がする場所がない。子どもが小さいときは支援センターなど親子で活動するところはたくさんあるが、小学校高学年からは一緒に活動する機会も場所もない

大中遺跡まつりには、播磨南高校と兵庫大学の学生にも実行委員になってもらっている。「祭り屋台」は、若い人からの発案で町がサポートし、普段行政に関わりが少くない年代に活躍してもらった。兵庫大学では関わってもらった学生からさらに多くの学生へと広げてもらっている。子どもたちが活躍する場を設定するように考えていきたい。少年軟式野球協会のタウンミーティングでは、中学校野球部の部活動に保護者も協力したいと話されていた。親子で関わることは家族だけ

浜田球場の汲み取り式のトイレはどこにかならないか

新島球場のトイレを水洗化し駐車場も整備した。次は浜田球場のトイレを改修したいと思、平成25年度予算に計上しており、水洗化することで快適になると思う

望海球場はA面にはトイレはあるがB面にはトイレがない

トイレひとつでも配管整備が必要なので3千万円くらいかかる。平成25年度は浜田球場を整備するので、望海球場は今後検討したい。優先順位があるので一度に解決するのは難しいが、少しずつ前に進んでいけると思う。現在、老朽化した町民プールについて検討しており、平成25年度に方向性が決定する。住民アンケートの結果では小さい子がいる人はよく利用するらしいが、どう思うか

明石市には大きなプールもあるが、広い面積が必要だ

健康いきいきセンターに年中利用可能な温水プールがあり、他市にはスライダーなど規模の大きなものがあるので、できれば町民プールのあとは小さい子どもが水遊びで

以前は大会で使用する石灰は無料だったが、事前に話もなくこの4月から有料になるとの報告がきた

中央公民館、体育館などは指定管理者制度で運営している。スポーツクラブは体育

の体制も整えて開放することも考えられる

## テーマ 子育てを通じたまちづくり



2月18日(月) 13:30~14:40  
播磨町地域の子育てに寄り添う会 参加者8人

私は放課後等デイサービス、児童発達支援、保育所等訪問事業をしている。きっかけは子どもが子育て学習センターでお世話になり、自分も何かできないかと思い、小さなグループで活動し始めた

放課後等デイサービスはどこで活動しているのですか

自宅と同じ敷地内で、総勢では80~90人くらい

具体的にどのようなことを

受給者証を持っている子どもの中には自閉症や発達障害、ダウン症などの障がい児もいる。包括的教育を目指しているため、健常者と一緒にコミュニケーションを練習したり、発語トレーニングをしたり、言語聴覚士、音楽療法士など専門分野のスタッフと一緒にしている

いいサポートをしてあげること大切だと思う。特別支援学校に行ったときも、代表の子どもたちがすごくしっかりしていて、それは教育の成果だと思った。小さいとき

からサポートできる場があるのはいいこと

私は中央公民館で学習支援のサポートのボランティアをしている。学校の授業がわかるようになれば勉強も嫌にならないうちが始めた

何人くらいですか

今は算数だけで、小学3年生までの子が15人程いる。講師が2人だけなのでそれが限界

教科専門指導教諭を全小学校に配置しているが、さらなるサポートも必要なのでですね

学校では児童の人数が多いので全員がわかるようにするのは難しいと思う

4年生までは35人学級ということや教科専門指導教諭の配置などで行き届いていると思っていたが

勉強以前に、大人数の中で話を聞くのが苦手な子もいる。ADHD(注意欠陥多動性障害)の子などは人の話を聞くことが難しいので、人数での対応が必要だと思う

スクールアシスタントなどいろいろな対応策をしているが、教科専門指導教諭が設置されてから10年近くたってい

。民間での取り組みも効果があるなら、そうしたやり方のほうを拡大する方向もあると思う。教育長とも話をしていきたい

子どもたちが小さいころ学習支援センターでお世話になったせい、親子で一緒に播磨町のために何かボランティアをしたいと言っている。がする場所がない。子どもが小さいときは支援センターなど親子で活動するところはたくさんあるが、小学校高学年からは一緒に活動する機会も場所もない

大中遺跡まつりには、播磨南高校と兵庫大学の学生にも実行委員になってもらっている。「祭り屋台」は、若い人からの発案で町がサポートし、普段行政に関わりが少くない年代に活躍してもらった。兵庫大学では関わってもらった学生からさらに多くの学生へと広げてもらっている。子どもたちが活躍する場を設定するように考えていきたい。少年軟式野球協会のタウンミーティングでは、中学校野球部の部活動に保護者も協力したいと話されていた。親子で関わることは家族だけ

。民間での取り組みも効果があるなら、そうしたやり方のほうを拡大する方向もあると思う。教育長とも話をしていきたい

子どもたちが小さいころ学習支援センターでお世話になったせい、親子で一緒に播磨町のために何かボランティアをしたいと言っている。がする場所がない。子どもが小さいときは支援センターなど親子で活動するところはたくさんあるが、小学校高学年からは一緒に活動する機会も場所もない

大中遺跡まつりには、播磨南高校と兵庫大学の学生にも実行委員になってもらっている。「祭り屋台」は、若い人からの発案で町がサポートし、普段行政に関わりが少くない年代に活躍してもらった。兵庫大学では関わってもらった学生からさらに多くの学生へと広げてもらっている。子どもたちが活躍する場を設定するように考えていきたい。少年軟式野球協会のタウンミーティングでは、中学校野球部の部活動に保護者も協力したいと話されていた。親子で関わることは家族だけ

でなく、周りにも波及効果があると思う

播磨町内の小児科の先生に寄稿していただいた「通信」を、健診のときや保育園、幼稚園に配っている

専門家と一般の人では子育てについての見方が違うと思うし、いいことだと思つて続けている方がいい。どのくらいのペースで発行されているのですか

2カ月に1回発行し年間3千通。費用は県からの補助金で賄っている。来年度からは冊子で配ろうと考えている。活動の内容や名前などを一覧にして配れば、母親が困ったとき気軽に聞けるのではないかと思う

「こんにちは赤ちゃん事業」では、民生委員・児童委員や主任児童委員が生まれてすぐに訪問するので地域デビューとしていい機会だと思つ。皆さん方と町がうまく連携できれば、いろんな形で相乗効果があると思う